

2009年3月3日
東日本旅客鉄道株式会社

環境技術研究所を設立します

- ・ 「JR東日本研究開発センター」内に「環境技術研究所」を設立します。
- ・ 地球環境問題への貢献に有効な技術テーマを専門的に研究開発することで、鉄道の環境技術において世界の最先端をめざします。

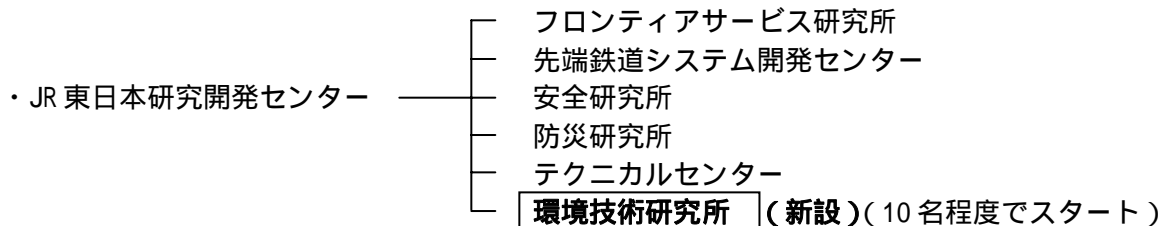
1. 概要

これまで当社グループとして、事業活動と環境保護の両立の理念のもと、行動指針と数値目標を定めて環境保護活動に取り組んできました。また、2008年3月に策定した「グループ経営ビジョン2020 - 挑む - 」においては、より高い数値目標を設定しました。

これら環境に関する目標(CO₂削減など)を達成するためには、既存技術の積み上げに加えて、新たな環境技術を当社グループ事業へ導入するための、戦略的かつ積極的な研究開発が不可欠となります。

企業として持続的な発展を図りながら、環境保護における社会的責任を果たすために、研究開発を推進する環境技術研究所を設立します。

2. 組織体制



3. 設立時期

2009年4月1日(水)

4. 研究開発内容

環境技術に関する以下の研究開発テーマから取り組んでいきます。

- ・ 戦略的に研究開発をしていく上で必要な調査・研究
 - < 環境負荷評価手法(ライフサイクルアセスメントなど)の研究、最新の環境技術の鉄道への適用に関する調査・分析・評価 など >
- ・ 運転エネルギーに関して、新たなエネルギーの適用や効率的利用の研究開発
 - < 蓄電池駆動システム(車上・地上)の開発、燃料電池を車両へ適用するための研究開発 など >
- ・ 再生可能エネルギーや省エネルギー技術の適用に関する基礎的な研究開発
 - < 駅などでの省エネ空調システムの研究開発 など >